

令和6年度 学校関係者評価

【確かな学力の育成】

- 全体的に目標を達成しているように感じた。
- タブレットの活用など、時代に合った取り組みも効果が出ているように思う。
- タブレットの活用により、児童が発表しやすく、聞く側も分かりやすい環境になっていて、学習の意欲にもつながっていると思われる。
- デジタル教科書事業は、令和6年度のみとのことで残念。一年限りであっても、良い学びになり、今後に役立つ一年だったと思う。
- タブレットやパソコンを使った学習が浸透していくと、家庭環境によって学びに影響が出ないか心配である。
- 今年度、デジタル教科書を使用することで、昨年度より更に広く深く、具体的な学習ができて、大変よかった。
- 校舎内に、階段のことわざや世界地図など、子どもたちがよく目にふれる場所に掲示がされており、工夫が見られてよかった。
- 読み聞かせも担当しているが、やはり良書を読むことは、人間の豊かな心を育むことにも通じると思う。
- 読む力をつけていくことが課題だろうか。
- 今後も今年度のような取り組みを継続していただきたい。
- 今後、更にタブレットの有効活用により、児童が進んで学ぶ姿を期待したい。

【豊かな心育成】

- ポジティブ教育をさらに進めてもらい、全児童に楽しく学校生活を送ってもらいたい。
- 自己肯定感を高めるための活動は、自身の可能性を見つける、或いは広げることにもつながると思うので、是非とも継続いただきたい。VUCA時代にあって、“正しい”の判断が難しく、自分の出した答えに自信をもつことにも影響を与えと思う。
- 学習の中で、自分や友達の良さについて考えをもたせていることが、とてもよかった。
- 他の人を誉めたり、感謝の気持ちを伝えるメッセージが貼られているのを見せてもらったが、大切なことだと思う。地域の大人が誉めて気づいたことを言えるのが、豊かな心を育てることにつながるが良い。
- 学活の時間を統一し、たてわり活動や委員会発表などを昨年より多く取り入れている。子どもたちが“楽しい”と答えている。活動の中で楽しむと同時にたくさんの学びがあったと思う。来年度も多く取り入れてほしい。
- 縦割り班活動で思いやりの心を育てていけるといい。
- 学校と地域の連携や縦割り活動の効果が出ていると思う。
- 数字だけでは判断できないところが多いと思う。
- みんなで協力することの大切さや楽しさ、達成感などは、高い数値で表れているので、学校が楽しいと思える児童が増えるには、今後、授業の工夫が必要なかと思う。

【健康な体・自己管理能力の育成】

- 学校保健委員会より、児童の視力、歯の健康、バランスの取れた体づくりのため、日々努力して下さっていることが伝わった。
- 健康・体力づくりとも、学校・家庭で実践できているように思う。
- 自分の子どもの頃も、「テレビばかり見て・・・。」と注意されていた。今の子どもたちは、テレビと言うよりスマホやタブレットの画面なので、より目に悪いように思う。スマートルールは大事だと思う。
- テレビ、インターネット利用時間の自己管理は課題だと思った。
- スマートルール、にこいきチェックカードは、とても良い取り組みだと思う。何気なく過ぎる日々に、定期的に行うことで、日常生活を見直すきっかけになっている。
- スマートルールに関して、これから ICT を大いに活用していくであろう児童たちと IT に弱い保護者世代を対象に、親子教室で簡単な基礎知識講座やスマートルールづくりなどを実施してみてもどうだろうか。
- 異常気象、不審者の出没など、子どもたちだけで自分の好きな所で安全に遊ぶことが難しい社会になっている。また、スマホやゲームでの遊びが増え、思い切り体を動かして遊ぶことも減っている。家庭でも、放課後の遊び方を考え、学校と連携を取り、問題解決していくべき。
- 肥満や視力の改善に向けて、今後もきめこまやかな指導をお願いしたい。

【家庭・地域との連携を深める活動他】

- 学校からの情報発信が、学年の活動も含めて届けられているので、学校の様子がわかる。
- Home&School を活用することにより、今日、どんなことを学校・学年でやっていたかが保護者に伝わり、家で、子どもと学校での出来事を話すことがとても増えた。
- PTA の活動は、会員数減や組織自体の有無を意見する風潮もあり、難しくなってきたかと思うが、やはり親が地域でいきいきと活動している姿を我が子に見せることは、“愛郷心”を育むためには大事だと思う。現 PTA の活躍を期待する。
- センター長をはじめとするコミセンの力添えの効果は大きいと感じる。
- 大関の地域連携は、生徒数や学校とコミセンのちょうどよい距離感も要因の一つだと思う。他地区のコミセンでは、中学生の地域活動への参加が少ないという課題がある。単発的な活動ではなく、小学校時代からの呼びかけの効果が大きいだろう。
- 教育活動の報告から、地域と学校の連携の大切さ、そしてその効果を改めて感じた。子どもたちがのびのびと育っている印象を受けた。また、その他の校外学習などでも、他の地域についての学習を多く取り入れることで、子どもたちは人とのつながりや地域についてのさまざまなことを学べて幸せだと感じた。これからも継続していただきたい。
- 子どもは、地域の宝です。微力ながら、今後もお手伝いさせていただきたい。
- 大関の子どもは幸せだと思う。今後もお願いします。